

# JIMTEF 災害医療研修アドバンスコース受講報告

日時：2024年11月3日（日）～11月4日（月）

会場：JICA 関西センター（兵庫県神戸市）

JIMTEF 災害医療研修 アドバンスコースに参加してきました。この研修は、JIMTEF が有する医療技術分野のネットワークを活用し、大規模災害発生時の多種多様な状況に適切に対応できる技術・知識を有する医療技術者の育成を図るために行われています。

今回ベーシックコースで得た知識を踏まえつつ、「避難所運営ゲーム(HUG)」にて市町村内の部局を超えた連携体制がなければ円滑な支援はできないことや、要配慮者に対する避難所での支援の中で、平時から共通の認識を持つておく必要があることを学びました。また「本部運営実践」では、発災後日々状況が変化していく中で、現状の把握や情報処理を円滑に実施することの難しさや、見通しを立てながらも臨機応変に活動部隊を配置していくことの重要性を再認識することができました。

地震や津波などの自然災害は、時として、想像を超える力で襲ってきます。一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」が重要だと言われています。今後は、福岡県言語聴覚士会の会員皆様が「自助・共助・公助」について考えることができるよう、災害における備えや災害派遣について少しでも興味を持っていただけるような取り組みができればと思います、今後も自己研鑽に励みます。

久留米大学病院 リハビリテーション部 山口春菜

